



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月6日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4042 URL <https://www.tosoh.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗田 守
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営管理室長 (氏名) 坂田 昌繁 (TEL) 03-6636-3713
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	795,696	6.4	74,600	25.3	82,545	20.2	48,525	17.3
2024年3月期第3四半期	747,889	△5.9	59,551	1.1	68,672	△5.0	41,367	△10.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 55,549百万円(△10.7%) 2024年3月期第3四半期 62,205百万円(△1.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	152.37	152.36
2024年3月期第3四半期	129.95	129.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,325,427	880,581	61.3
2024年3月期	1,289,949	858,766	61.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 812,147百万円 2024年3月期 794,516百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2025年3月期	—	50.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,070,000	6.4	98,000	22.7	105,000	9.5	61,000	6.4	191.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) トーソー・ベトナム・ポリウレタン Co., Ltd

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	325,080,956株	2024年3月期	325,080,956株
2025年3月期3Q	6,571,313株	2024年3月期	6,667,250株
2025年3月期3Q	318,461,501株	2024年3月期3Q	318,335,574株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項等は、添付資料の5ページをご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	P. 4
(4) 研究開発費に関する説明	P. 4
(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 12
3. 補足情報	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)における世界経済は、減速しつつも底堅く推移しておりますが、低調な中国国内需要や米国新政権による経済・外交政策が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような情勢下、当社グループの連結業績については、売上高は、需要増加や南陽事業所の定期修繕差異に伴う生産量の増加により販売数量が増加したことに加え、円安やナフサ価格上昇に伴い販売価格が上昇したことから、7,957億円と前年同期に比べ478億円(6.4%)の増収となりました。営業利益は、販売数量の増加やエンジニアリング事業の売上拡大により、746億円と前年同期に比べ150億円(25.3%)の増益となりました。営業外収益に計上された円安に伴う為替差益により経常利益は825億円となり、前年同期に比べ139億円(20.2%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、485億円と前年同期に比べ72億円(17.3%)の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

石油化学事業

エチレンは、前年に四日市事業所プラントのトラブル影響があったことから生産量は増加し、出荷数量が増加しました。キュメンは、需要減少に伴い出荷数量が減少しました。また、ナフサ価格の上昇により、エチレン及びプロピレンの販売価格は上昇しました。為替及び海外市況上昇の影響を受け、キュメンの販売価格は上昇しました。

ポリエチレン樹脂の内需は、前年同期並みの出荷数量で推移しましたが、原料ナフサの上昇による値上げを実施したため販売価格は上昇しました。輸出は、EVA樹脂を中心に海外市況が悪化しているため、出荷数量が減少しました。クロロプレンゴムは、地域ごとに濃淡はあるものの需要が回復し始めており出荷数量が増加しました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ159億円(11.1%)増加し1,591億円となり、営業利益は、クロロプレンゴムの販売数量増加やキュメンの交易条件改善等により、前年同期に比べ35億円(39.7%)増加し124億円となりました。

クロル・アルカリ事業

苛性ソーダは、南陽事業所の定期修繕差異に伴う生産量の増加により出荷が増加しました。また、海外市況の上昇並びに円安により輸出価格は上昇しました。塩化ビニルモノマーは、南陽事業所の定期修繕差異に伴う生産量の増加により出荷が増加しましたが、海外市況の下落を受けて販売価格は下落しました。塩化ビニル樹脂は、主に国内出荷が減少しました。海外市況は下落しましたが、円安により販売価格は上昇しました。

セメントは、需要低調により出荷が減少しました。

ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)は、出荷が増加し、海外市況の持ち直しと円安により販売価格が上昇しました。ヘキサメチレンジイソシアネート(HDI)系硬化剤は、世界的な需要低迷を背景に市況が下落し、販売数量が減少し、販売価格が下落しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ142億円(5.4%)増加し2,788億円となり、営業利益は、在庫受払差の改善やMDIの販売数量増加等により、前年同期に比べ49億円(204.3%)増加し73億円となりました。

機能商品事業

エチレンアミンは、需要が回復しアジア地域を中心に出荷が増加しましたが、海外市況の下落に伴い販売価格は下落しました。

計測関連商品は、欧米向けで液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が増加しました。診断関連商品は、国内外で自動ヘモグロビン分析装置用の関連試薬の出荷が増加しました。

ハイシリカゼオライトは、自動車用途を中心に出荷が減少し、構成差等により販売価格が下落しました。ジルコニアは、装飾用途・歯科用途で出荷が減少しましたが、円安により販売価格は上昇しました。石英ガラスは、半導体需要の低調により出荷が減少しましたが、円安及び価格是正により販売価格は上昇しました。電解二酸化マンガンは、国内及びアジア地域で出荷が増加しました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ88億円（4.5%）増加し2,032億円となり、営業利益は、固定費の増加や在庫受払差の悪化はあるものの、計測関連商品や電解二酸化マンガンなどの販売数量増加により、前年同期に比べ5億円（1.5%）増加し313億円となりました。

エンジニアリング事業

水処理エンジニアリング事業は、電子産業分野などを中心に前年までに受注した大型案件の工事が順調に進捗したことや、設備保有型サービスや各種メンテナンスなどソリューション案件が好調に推移したことから、売上高が増加しました。

建設子会社の売上高は減少しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ92億円（8.3%）増加し1,200億円となり、営業利益は、前年同期に比べ59億円（38.2%）増加し214億円となりました。

その他事業

運送・倉庫、検査・分析、情報処理等その他事業会社の売上高は減少しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ4億円（1.1%）減少し346億円となり、営業利益は前年同期に比べ2億円（10.7%）増加し22億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の減少等がありましたが、受取手形、売掛金及び契約資産、有形固定資産の増加等により、前期末に比べ355億円増加し1兆3,254億円となりました。

負債は、引当金の減少等がありましたが、短期借入金、長期借入金の増加等により、前期末に比べ137億円増加し4,448億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、為替換算調整勘定の増加等により、前期末に比べ218億円増加し8,806億円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

現金及び現金同等物は、前期末に比べ210億円減少し、1,280億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、532億円の収入となりました。税金等調整前四半期純利益が増加したものの、売上債権、法人税等の支払額の増加等により資金が減少し、前年同期に比べ264億円収入が減少いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、702億円の支出となりました。設備投資による支出の増加等により、前年同期に比べ255億円支出が増加いたしました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは前年同期に比べ519億円支出が増加し、169億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、67億円の支出となりました。配当金の支払額が増加したものの、短期借入金の増加等により、前年同期に比べ158億円支出が減少いたしました。

(4) 研究開発費に関する説明

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は約160億円であります。

当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の状況の重要な変更は次のとおりであります。

当社は、研究部門の連携強化とともに、社会課題や成長分野への取り組み、研究のデジタルトランスフォーメーション等に対して、研究部門全体で対応可能とすることを目的として、研究開発体制を再編いたしました。従来の7研究所体制を機能別組織に再編し、以下の体制としました。

- ・全研究部門を統括する研究本部を社長直轄の組織として新設
- ・研究本部の下に3つの機能別研究センター（先端融合研究センター、石化・高分子研究センター、機能材料研究センター）を新設
- ・現在の7研究所を6研究所に再編（次世代材料研究を新設する先端材料研究所に集約）し、3研究センターの下に設置
- ・研究企画部を研究企画管理部と改称し、MIセンターと共に研究本部の下に設置

また、高度専門職を志向する風土を社内に醸成し、高度な専門性を有する研究者の育成を促進するため、高度専門職制度を新設しました。

当社は、今後も研究部門の連携を強化していくとともに、高付加価値製品を生み出し続けていくことで、企業の持続的な成長と企業価値の向上を目指し、持続可能で豊かな社会の実現に向けて貢献していきます。

(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、2024年11月5日に公表した予想値を下記の通り修正しました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,090,000	百万円 94,000	百万円 94,000	百万円 53,000	円 銭 166.44
今回発表予想 (B)	1,070,000	98,000	105,000	61,000	191.55
増減額 (B-A)	△20,000	4,000	11,000	8,000	
増減率 (%)	△1.8	4.3	11.7	15.1	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	1,005,640	79,845	95,920	57,324	180.07

詳細については、本日公表しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	149,812	133,896
受取手形、売掛金及び契約資産	294,812	315,910
商品及び製品	160,562	156,914
仕掛品	19,319	17,455
原材料及び貯蔵品	75,370	71,557
その他	56,089	64,083
貸倒引当金	△813	△771
流動資産合計	755,154	759,048
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	119,170	124,866
土地	68,173	68,328
その他（純額）	192,158	216,413
有形固定資産合計	379,501	409,609
無形固定資産		
投資その他の資産	10,527	13,276
投資有価証券	70,724	69,973
退職給付に係る資産	47,620	48,147
その他	26,909	25,851
貸倒引当金	△489	△478
投資その他の資産合計	144,765	143,493
固定資産合計	534,795	566,379
資産合計	1,289,949	1,325,427

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	122,149	119,491
短期借入金	145,265	165,727
未払法人税等	18,169	12,238
引当金	17,966	8,029
その他	55,211	58,067
流動負債合計	358,763	363,555
固定負債		
長期借入金	31,070	38,885
引当金	1,427	2,682
退職給付に係る負債	19,758	20,193
その他	20,162	19,529
固定負債合計	72,419	81,290
負債合計	431,182	444,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	44,358	44,289
利益剰余金	654,832	673,100
自己株式	△9,720	△9,582
株主資本合計	744,643	762,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,379	18,064
為替換算調整勘定	16,093	17,138
退職給付に係る調整累計額	15,399	13,964
その他の包括利益累計額合計	49,872	49,167
新株予約権	42	40
非支配株主持分	64,207	68,393
純資産合計	858,766	880,581
負債純資産合計	1,289,949	1,325,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	747,889	795,696
売上原価	580,640	602,891
売上総利益	167,249	192,804
販売費及び一般管理費	107,697	118,204
営業利益	59,551	74,600
営業外収益		
受取利息	671	887
受取配当金	1,609	1,379
為替差益	5,444	3,670
持分法による投資利益	1,330	2,434
その他	2,240	2,470
営業外収益合計	11,295	10,843
営業外費用		
支払利息	1,781	2,133
その他	393	764
営業外費用合計	2,174	2,898
経常利益	68,672	82,545
特別利益		
固定資産売却益	80	245
投資有価証券売却益	211	1,576
特別利益合計	292	1,821
特別損失		
固定資産売却損	82	98
固定資産除却損	1,286	1,521
投資有価証券評価損	—	0
減損損失	—	9
本社移転費用	306	—
特別損失合計	1,675	1,630
税金等調整前四半期純利益	67,289	82,737
法人税等	20,211	26,420
四半期純利益	47,077	56,317
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,709	7,791
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,367	48,525

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	47,077	56,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,735	△631
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	10,515	1,226
退職給付に係る調整額	△926	△1,479
持分法適用会社に対する持分相当額	800	117
その他の包括利益合計	15,128	△767
四半期包括利益	62,205	55,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,402	47,819
非支配株主に係る四半期包括利益	6,803	7,730

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	67,289	82,737
減価償却費	32,634	34,435
減損損失	—	9
退職給付に係る資産負債の増減額	△2,079	△2,616
受取利息及び受取配当金	△2,280	△2,266
支払利息	1,781	2,133
為替差損益(△は益)	430	△1,172
持分法による投資損益(△は益)	△1,330	△2,434
投資有価証券評価損益(△は益)	—	0
固定資産売却損益(△は益)	2	△146
固定資産除却損	1,286	1,521
投資有価証券売却損益(△は益)	△211	△1,576
本社移転費用	306	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	681	△20,497
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,333	9,816
仕入債務の増減額(△は減少)	8,056	△3,618
その他	△17,327	△14,973
小計	95,572	81,349
利息及び配当金の受取額	3,755	4,085
利息の支払額	△1,718	△2,072
法人税等の支払額	△17,981	△30,129
営業活動によるキャッシュ・フロー	79,628	53,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△43,414	△65,291
固定資産の売却による収入	407	321
投資有価証券の取得による支出	△122	△370
投資有価証券の売却及び償還による収入	318	1,978
貸付けによる支出	△2,769	△2,366
貸付金の回収による収入	2,724	2,295
その他	△1,793	△6,747
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,648	△70,180
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,100	23,005
長期借入れによる収入	9,706	15,282
長期借入金の返済による支出	△7,363	△10,510
配当金の支払額	△25,453	△30,231
非支配株主への配当金の支払額	△1,925	△3,403
その他	△587	△845
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,523	△6,703
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,305	2,641
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	15,761	△21,009
現金及び現金同等物の期首残高	119,421	148,970
現金及び現金同等物の四半期末残高	135,183	127,960

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	143,159	264,629	194,409	110,720	34,971	747,889	—	747,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	94,492	35,196	16,400	10,579	48,426	205,095	△205,095	—
計	237,652	299,825	210,809	121,300	83,397	952,984	△205,095	747,889
セグメント利益	8,888	2,409	30,782	15,458	2,013	59,551	—	59,551

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	159,099	278,802	203,244	119,954	34,594	795,696	—	795,696
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111,802	36,631	17,975	13,469	49,844	229,723	△229,723	—
計	270,902	315,434	221,220	133,424	84,438	1,025,420	△229,723	795,696
セグメント利益	12,420	7,331	31,259	21,361	2,227	74,600	—	74,600

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

2024年度第3四半期連結決算概要

(1)業績

(単位:億円)

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増 減	2023年度	2024年度(予想)
売 上 高	7,479	7,957	478	10,056	10,700
営 業 利 益	596	746	150	798	980
経 常 利 益	687	825	139	959	1,050
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	414	485	72	573	610
1株当たり四半期(当期)純利益	129円95銭	152円37銭	22円42銭	180円07銭	191円55銭

(2)指標

	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増 減	2023年度	2024年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	143.3	152.6	9.3	144.6	153.0
為替[TTM期中平均](円/EUR)	155.3	164.9	9.6	156.8	163.7
国産ナフサ価格(円/KL)	67,967	76,333	8,366	69,100	75,500

(3)事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	1,432	1,591	159	27	132	-	-
	営業利益	89	124	35	37	-	7	△9
クロル・アルカリ	売上高	2,646	2,788	142	68	73	-	-
	営業利益	24	73	49	17	-	△1	33
機能商品	売上高	1,944	2,032	88	55	33	-	-
	営業利益	308	313	5	49	-	5	△49
エンジニアリング	売上高	1,107	1,200	92	67	26	-	-
	営業利益	155	214	59	59	-	0	0
その他	売上高	350	346	△4	△7	4	-	-
	営業利益	20	22	2	2	-	0	0
合 計	売上高	7,479	7,957	478	210	268	-	-
	営業利益	596	746	150	164	-	11	△25

(注) 億円未満は四捨五入

(4) 業績予想

(単位:億円)

		2023年度	2024年度(予想)	増減	2024年度(予想)内訳	
					上期	下期
石油化学	売上高	1,836	2,064	228	1,062	1,002
	営業利益	107	147	40	73	75
クロル・アルカリ	売上高	3,595	3,754	159	1,852	1,902
	営業利益	36	101	65	45	56
機能商品	売上高	2,596	2,685	89	1,364	1,321
	営業利益	379	374	△5	215	159
エンジニアリング	売上高	1,570	1,741	171	770	972
	営業利益	247	328	81	126	202
その他	売上高	459	456	△3	228	228
	営業利益	29	29	0	15	14
合計	売上高	10,056	10,700	644	5,276	5,424
	営業利益	798	980	182	474	506

(注) 億円未満は四捨五入